

和田堀第六調節池（善福寺川）

施設概要

和田堀第六調節池は、善福寺川の治水安全度を早期に向上させるために、昭和 50 年代に都立和田堀公園内に整備した調節池の一つです。

神田川の支川である善福寺川や妙正寺川では、平成 17 年 9 月の豪雨において大規模な浸水被害が発生し、中野区や杉並区などを中心に 3000 棟以上が浸水しました。これを受け、善福寺川・妙正寺川の河川激甚災害対策特別緊急事業が採択されました。これにより、善福寺川本川の護岸整備に加えて、当調節池の貯留量拡張が図られ、当調節池の貯留量は当初整備時（昭和 58 年）の 25,700m³ に対して、調節池を 1.5m 掘下げることにより、48,000m³ に拡張されています。

調節池内は、平常時は和田堀公園野球場（杉並区）として利用されています。



調節池全景



取水施設



平面図

施設諸元

位置	杉並区大宮一丁目
完成年度	昭和 58 年度（平成 19 年度に拡張）
施設形式	掘込式
敷地面積(m ²)	22,000m ²
貯留量(m ³)	48,000m ³
越流堤延長(m)	30m
調節池の上部利用	和田堀公園野球場（杉並区）

位置図



調節池位置のQRコード